少年非行問題

—多い学生の非行—

いまわしく、そして悲しかった終戦のあの日から既に十年、あの頃の想い出が今は一昔のできごとのようにわれわれの脳裡によみがえって来る。混乱した頽廃、日々繰り拡がる凶悪な犯罪、傾きかけた貧しい国、貧しい日々の食糧など、どこを見てもこれがかつて世界の一等国を自負した日本の姿としてはあまりにも惨めな現実であった。だが国民はみな失意の中にも燃える様な再建の希望に燃えていた、そして十年の歳月はまたたくうちに過ぎ去った。

このめまぐるしい十年間であったが、かくして形式的にも一応明るい住みよい今日の社会を見ることができるようになった。だが今日の社会をみるまでには数多くの障害や混乱があり決して容易なものでなかったが、然しわれわれ国民は潔く冷静に社会を見ることができるようになった。

過去十年間における犯罪の推移は、各方面に種々詳細に検討され、昭和二十六年を頂点に次第に下りつゝあるとの結論を得たが、しかし犯罪の発生は社会の状態に正比例し、絶時も静止せず社会の経済状態が安定すれば犯罪も減少し、混乱すれば自然的に増加する、要するに政治と犯罪は密接不離の関係をもっているということができる。

然るに昭和二十九年度においては、いわゆるデフレ政策の施行に伴う中小企業の倒産失業、社会の経済状態悪化にやもすれば動揺し、失業群は特にあふれ庶民階層は生活不安に陥落され、ために一時下降状態を示した犯罪も戦前の線まで下るかにみえたがその発生は逆に約五%、検挙においても約十四%増加し、少年犯罪も約九、九%の増加を見たのであります。

このような犯罪が増加したからといって警察の補導取締が放任され、世間の関心が薄くなったものとはおもわれない。警察においてもその他の防犯団体においても更に世間一般においてもより積極的な対策を練り、特に少年問題については世間の関心も喚起され充分その対策も講じられたとおもわれるが、しかしこのような増加を見るということは一つには経済状態が如何に犯罪に敏感に作用するかが窺われるのであって、人の努力には限界もなくあらゆる困難も障害も排除することができるものであり、過去一年間のその実績と記録を次に掲載、これを少年犯罪に対する防止護導の資料とし、更にこれを批判検討することによってより効果的な活動が出れることを期待する次第であります。この資料においては昭和二十九年度中における少年犯罪の概況を挙げて御参考にします。

一、少年非行者の一般概況

昭和二十九年中に宮都府下で罪を犯して検挙された以上、〈（）内は犯行者の数は

非行区分 / 年度別	昭和二十九年度	昭和二十八年度	増減
刑法犯罪	四、二三七	三、八五五名	三八二名
特別法犯罪	七三二	六七五	五七
〈（）内は犯行者〉	四三、八四七	三二、五五六	一一、二九一
計	四八、八一六	三七、〇八六	一一、七三〇

の参きに違し、前年に比較していずれも全面的に増加しており、まことに重心に堪えない次第です。

少年の犯罪で最も重視されるのが刑法犯罪を犯して検挙された少年の数で、四、二三七名であって、これを個々の犯罪についてみますと

▲前年より増加したもの

【（）は前年度】放火七名（二名）傷害二六三（一八九名）恐喝七七名（五四名）暴行三、一三七名（二、七三八名）わいせつ一三名（八名）

▲前年と同じようなもの

強盗四五名（四八名）詐欺一九五名（二〇三名）横領二〇一名（二一四名）賍物二六六名（七名）

▲前年より減少しているもの

殺人七名（一二名）強姦一七名（二三名）猥褻二名（五七名）その他二六七名（三〇〇名）

次に特別法犯罪（銃砲刀剣類等所持取締令、火薬取締法、電波法取締法、道路交通取締令、経済関係罰法令、その他各種条例違反等）とは、刑法犯罪以外の各種の犯罪のことでこれを個々の犯罪について前年度と比較してみると

▲増加しているもの

【（）内は前年度の数字】

銃砲刀剣類所持違反二一名（一八名）麻薬取締法違反四九名（七名）覚醒剤取締法違反四九名（四三名）

▲鶴ね同じもの

その他六三五名（五九三名）

▲減少しているもの

軽犯罪三名（一一名）売いん〇名（三名）となっている。

「貧困型」の問題は警察としても世論の強い支持のもとに取締を行っているが、一面に減少しないばかりでなく、青少年の間に次第にはびこってきていることは見逃せない重要である。

「売いん」の撲滅は一見寒ばしいことであるが、これは偶然検挙されなかっただけの事で、多数の年若い娘達が悪質地域に、或は青線地域に接客婦として働いている現状からみれば決して放任できない問題であろう。

次に少年のぐ犯（虞）行為について申上げると少年が不良行為や犯罪へ転化する虞れのあるもので、これをぐ（虞）犯行為等とした少年の数は四三、八四七名という膨大な数字を示し、前年度より三四、七%増加しているが状況で誠に悲しむべきものがある。

▼増加したもの

【（）内は前年度の数字】

暴行一六名（六名）家出一、四二四名（一、一〇九名）金銭濫費一、九五四名（一、二七一名）婦女誘惑一四名（一名）不健全娯楽三三九三名（一、四八四名）

▲慣れ保合しているもの

物品持出五二四名（四八九）

▲減少しているもの

児器所持一七名（二〇名）けんか四一一名（四八〇名）、たかり三七名（五七名）登校拒否一、三〇八名（二、一五七名）その他五、一一七名（七、三六七名）

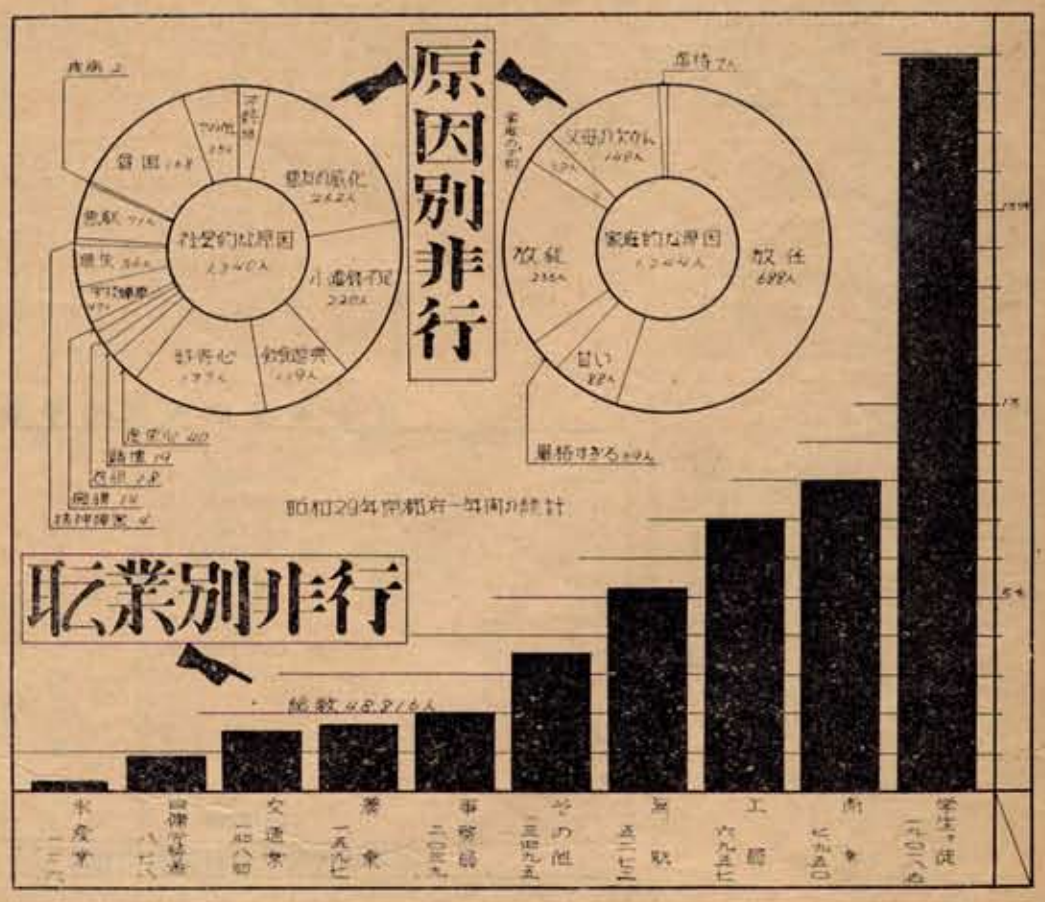
以上のようで、特に不良団加盟が激増したのは意外の感にうたれるが、これは暴力団狩の結果判明したもので、その根由の一つとして一部青少年の間にいわゆる「やくざ」の世界への人気と魅力があることは放任できない問題である。

不純異性交遊は、年々増加しているが、これには男女共学制の今日、これらをふくめた男女の健全な交際が要望されるところである。

▲非行少年の職業別

原因別の職業別については下図表に数についてはは下図表に示す通りである。

このようにして社会の推移に犯罪もまた常に変つた形で社会の頭上に覆いかぶさってくる、これらに対処し、その防止を期するためには常に過去の実験方則に基いた生きた対策が必要であり、可能にして常に新らしい対策を求めて研究することこそ必ずやこれである。



その労苦にひくいられることでしょう、めまぐるしい社会の進展に伴い貧富の差は大きくなり、少年の健全育成の問題は益々重要度を加え深刻化してくるときにあたり、子を持つ親として眼前の事象に捉われず、日本将来の視野を広くし、青年をもつてこれが補導に一段の御協力を願いたい。

婦人會だより

向日町婦人会々長 山本静

六月十四日、定例町議会をはじめて傍聴させていただき有難うございました。

當に婦人会に対し町当局から多大の御支援をいただき厚くお礼申し上ます。いつも婦人会で皆様と「婦人の政治教育は如何にすべきか」とか問題にしながら殆ども近な政治……町政を知らずに単なる机上の論議として過してきた点など省みれば、参政権をあたえられている私達婦人こそ

権利云々を主張する一前、もつと現実面に積極的な政治活動に対する意欲をもつ様心掛けるべきものと痛感いたしました。今後開かれる町会には一人でも多く皆さんと共に傍聴させていただき私達のこの地域社会の向上のために、個人個人の意向が反映された健全な民主社会の育成のために共々に精進したいものと存じます、真の郷土愛に燃え積極的に精進される議員さんと共に協力して行きたいと存じます。今年は丁度婦人参政権が与えられて十周年、私達婦人としましても、より一層政治の事を勉強すべきだと思います。「よりよき社会をつくる力になりましょう」との標のスローガンの下、人会もよりよい社会推進力となるよう、相互の啓発と共に当会一段の進展を願わるものであります。

大掃除用殺虫剤配布日程について

大掃除奨励に先だち次の日割で殺虫剤の配布をいたしますから御利用下さい。

七月十一日駒塚女事務所午前九時より正午まで

七月十一日寺戸事務所午後一時より午後四時まで

七月十二日森本事務所午後一時より午後四時まで

七月十二日鶏冠井事務所午前九時より正午まで

七月十三日西向日事務所午後一時より午後四時まで

七月十四日上植野事務所午後一時より午後四時まで

七月十五日向日町役場で午後一時より午時四時まで

右期間は、後日布告します。

急病人が！

赤十字家庭看護法を受けましょう

日本赤十字社では事業の一環として家庭看護法講習会を各所に開催し、大変好評をもつて迎えられており、向日町分区に於ても昨年は婦人会の方々が多数出席し、六日間にわたり向陽校で家庭病人の看護について受講し、みんな熱心に講習をうけ日本赤十字社から終了証を授与せられました。

この看護法は、家庭にあるお母さん方に是非知つていただき、知っておく事によって明るい家庭が生まれることと存じます。

なお本年も婦人会の方々と相談の結果、家庭主婦を主眼として広く多くの方々に知っていただき家庭に病人ができぬよう、若し、病人ができたときは適正な看護により、一日も早く治し、看にしてあげる為、この知識と技術の修得をして、明るい家庭を、ひいては明朗な社会生活の実現に貢献するよう皆さまの多数の御参加をお願いします。

講習会は、農繁期を避け、各部落で実施する計画を進めておりますが、或は二部落単位になるかも知れませんが皆さまの御参加を待ちおすすめします。

農協から 伊豆、伊東 日光 鬼怒川 温泉めぐり

—會員募集—

伊東こそ伊豆最大の温泉郷で四季の変化にとみ山岳に囲まれ、紺碧の大平洋が眼前に拡がり南国情緒また豊かな山紫水明の名園であり、伊豆大島天城連峰を望み、遥かに相模灘を眺め私達の理想郷と云えましょう。

明けて一路関東平野を東上、徳川家康の霊廟日光東照宮、天下の名泉鬼怒の瀧を眺め、中禅寺湖畔に遊び鬼怒川温泉に一夜の夢を結ぶ清遊でございます。

組合員各位相互の親交を図り、併せて貯蓄増強の一環として左記の通り計画を致しましたので皆様御賛同合せ御参加下さい。

記

一、実施期日 昭和三十一年二月下旬

二、コース

第一日 宮都—習津 バス 車中泊

道一日 習津—三津 バス 伊東 伊東温泉泊

（水族館見学）

第三日 伊東—東京—鬼怒川 鬼怒川温泉泊

第四日 鬼怒川—中禅寺—西参道—日光—（中禅寺湖・華厳の滝）—東照宮—上野—東京—京都

三、費用 五千三百円也

1定期貯金の利息配当 十万円一年・五万円二年、利息利額は、特別利息で増額し

2月掛貯金 六月—十二月各月七〇〇円

一月四〇〇円 昭和三十一年一月以降 五千四百円

3実費 昭和三十一年一月以降 五千四百円

註 1御希望の方は、各部落農協組合事務所申込下さい。

2運賃改正その他の事由により費用を変更することがあります。